市川市

たのしく絵本！はじめの一歩



4か月は絵本の入門期！

👆こども館での絵本の読み語り
赤ちゃんから、ご参加いただけます！

赤ちゃん絵本の選び方

赤ちゃん時代に一番大事なのは、周りの大人から十分に愛情をうけることであり、絵本も最初は大人とのコミュニケーションを得る為の手段として存在します。　『本のほかほかだより第9 号』参照

では、赤ちゃんのために絵本を選ぶ時は、どんな点に注意を払ったらいいのでしょう。
赤ちゃんは、様々な面で未発達の存在です。そんな状態を見守りながら、発達に合わせた喜びをもたらしてくれる本がいいですね。たとえば、絵ははっきりとしていて、明るいもの。丁寧に、温かみをもって描かれているものがいいでしょう。
はっきりしているというのは、けばけばしく目を引くということではありません。
美しく力のある絵ということです。

絵は1ページまたは、見開きで一つのものがはっきり描かれ、身近なものを題材にしているものがよいでしょう。
言葉はリズミカルで簡潔なもの。大きさもあまり大きい本だと扱いにくいので、小型で持ちやすいものがいいでしょう。

以上のようなことを頭において選んでみてください。そしてその絵本を使って十分に親子でスキンシップをはかりながら楽しい時間を過ごしてください。　『本のほかほかだより 第10号』 市川市中央図書館こどもとしょかん　発行より

市川市　中央こども館
住所：千葉県市川市鬼高1-1-4（メディアパーク市川内）
電話番号：　０４７－３２０－３３３７



赤ちゃんから参加できる
『たのしく絵本！はじめの一歩』は
市内のこども館で開催しています。
市川市役所ホームページ こども館 を検索

『　くだもの　』福音館書店
平山和子／作
おいしそうな果物が次々に出てきます。
たくさんの果物が実物そっくりに描かれ、「さあ、どうぞ」の誘いに、思わず手を伸ばし、食べるまねをしてみたくなります。





『　もこもこもこ　』文研出版
谷川俊太郎／作
元永宝正／絵
しーん、と何もない所に何かが生まれました。「もこ」「もこもこ」「にょき」と‥
絵やリズムが、こどもの五感に響きます



『 きゅっきゅっきゅっ 』福音館書店
林明子／作
右手にスプーン、左手にタオル、
広げた足の間にスープを置いた
あかちゃんが座っています。
ねずみ、うさぎ、くまの仔も一緒に
「おいしいスープ いただきまーす」。
ごっこあそびも楽しくなる絵本です。

『じゃあじゃあびりびり』偕成社
まついのりこ／作
あかちゃんが日常、よく目にするものと、そこから出される音で作られている絵本です。
自動車「ぶーぶーぶーぶー」。
あかちゃんも繰り返し口にして楽しむことでしょう。

